

JAXA 公開シンポジウム“ロボットが拓く宇宙開発のNEXT STAGE”の開催結果、及び「宇宙ロボットフォーラム」への参加登録状況について

平成19年4月18日
宇宙ロボット推進チーム
事務局長 小田 光茂

1. 報告事項

平成19年3月28日に開催した JAXA 公開シンポジウム“ロボットが拓く宇宙開発のNEXT STAGE”の開催結果、及び「宇宙ロボットフォーラム」への参加登録状況について報告する。

2. シンポジウムの概要

2.1 開催目的

今後の宇宙開発利用への JAXA のビジョンと、同ビジョンの実現における宇宙ロボット技術の必要性を広く JAXA の外部に提示し、今後の宇宙ロボット技術の研究開発に全日本的に推進しているための端緒とする。(別紙1:プログラム参照)

2.2 開催概要

①開催日時: 平成19年3月28日(水)

②開催場所: 日本科学未来館(東京都お台場)

③参加者等

参加希望登録者数 458 人

実参加者数 354 人 (参加者の内訳を別紙2に示す)

なお、開催に当たっては、JAXA 公開ホームページへの掲載や、学会/研究会のメーリングリストを利用した周知活動を実施した。

2.3 開催結果

(1)第一部(ロボットが拓く宇宙開発のNEXT STAGE)

JAXA 長期ビジョンに示された今後の宇宙活動を展望し、それらを実現する上で重要となる宇宙ロボットの活動分野として以下を紹介した。

- ・月惑星探査(月面/小惑星/惑星の無人探査、月面有人拠点の構築運用等)
- ・有人宇宙活動支援(宇宙での宇宙飛行士の活動を支援代替するロボット)

- ・ 衛星応用分野(衛星の点検、補給、大型衛星の組立保守等)

(2) 第二部(～「宇宙」のロボット王国を目指して～)

今後の宇宙ミッションで必要となる宇宙ロボットの研究開発を促進させるための方策等についてのパネルディスカッションを実施。主要な論点は以下の通り。

- ・ 無人宇宙探査、及び有人宇宙活動を支えるロボット技術は不可欠。
- ・ 宇宙ロボットの研究開発は世界の主要宇宙先進国が進めており、日本の独壇場ではなく、日本もここで頑張らないと追い越されて、取り残されてしまう。

(3) 展示

シンポジウム来場者を対象に以下の展示を行った。

はやぶさ模型、おりひめ・ひこぼし(ETS-VII)模型、宇宙服レプリカ、月面探査ローバ試作機

3 宇宙ロボットフォーラム

3.1 宇宙ロボットフォーラムの概要

「宇宙ロボットフォーラム」は今後の宇宙ミッションで必要となる宇宙ロボットに関して、産学官・個人等との幅広い意見・情報交換を通じて、今後の宇宙ミッションに適用できる技術／アイデア等を見出していく場とする。フォーラムは年度内に4～5回程度開催することを予定している。

3.2 参加登録状況

「宇宙ロボットフォーラム」の参加登録の受付開始を、3月28日に開催した上記シンポジウムの中、及びシンポジウム会場で実施した記者会見で発表すると共に、フォーラムへの参加登録開始のお知らせを JAXA 公開ホームページに掲載した。その結果、4月11日までに300人を超える参加登録があり、その後も参加申し込みが届いている。参加登録者の内訳を別紙2に示す。

3.3 今後の予定

- 5月28日(月) 第1回宇宙ロボットフォーラム開催(日本科学未来館)

第1回の宇宙ロボットフォーラムの開催日時、場所は、3月28日に開催した JAXA 公開シンポジウム会場で配布した資料等では、“5月25日に JAXA 東京事務所で開催”としていたが、参加希望者が多数のため、開催日時／場所を変更することとした。開催日時／場所の変更は、JAXA 公開ホームページでお知らせると共に、参加登録者に電子メール等で周知する。

第1回の宇宙ロボットフォーラムでは JAXA が今後、予定／検討している宇宙ミッションを紹介し、その中で必要となる宇宙ロボット技術について紹介した上で、参加者からの質問に答えると共に、情報提供を求める予定。

また、第1回のフォーラムに続いて、年度内にさらに数回程度のフォーラムを開催し、参加者との意見、情報交換を進め、情報交換の中から出てきた有益な情報／アイデア／技術については、それらを今後の JAXA の宇宙ミッションに利用すべく、更なる意見・情報交換を進め、必要に応じて共同研究等を進めることとする。

以上

シンポジウムプログラム最終版

14:00～14:10 開会挨拶

飯田 尚志(JAXA 理事/JAXA 宇宙ロボット推進チーム長)

14:10～15:50 第一部:“ロボットが拓く宇宙開発のNEXT STAGE”

宇宙ロボット推進チーム活動報告

小田 光茂(JAXA 宇宙ロボット推進チーム事務局長)

国際宇宙ステーションとロボティクス

若田 光一(JAXA 宇宙飛行士)

月面基地構想とロボティクス

吉田 哲二(清水建設株式会社)

マイクロロボットによる惑星探査

久保田 孝(JAXA 宇宙科学本部)

16:00～17:40 第二部:パネルディスカッション(宇宙一のロボット王国ニッポンを目指して)

司会:

中野 不二男(科学ジャーナリスト)

パネリスト:

吉田 和哉(東北大学大学院航空宇宙工学専攻教授)

太田 康裕(トヨタ自動車株式会社パートナーロボット開発部)

北野 宏明(ロボカップ国際委員会)

坂田 公夫(JAXA 理事)

西田 信一郎(JAXA 総合技術研究本部)

17:40～17:50 宇宙ロボットフォーラムへのお誘い

小田 光茂(JAXA 宇宙ロボット推進チーム事務局長)

閉会挨拶 立川 敬二(JAXA 理事長)

18:00～20:00 懇親会～FEEL SPACE 深宇宙への旅～(参加費:1,000 円)

宇宙ロボットシンポジウム(3月28日)参加者の内訳

JAXA	39
宇宙業界関係者(役所、団体)	31
宇宙関係企業社員	55
非宇宙分野の製造業関係者	72
非宇宙分野の非製造業関係者	37
大学関係者	71
個人(小中高生を含む)	30
プレス関係者	19

合計	354 名
----	-------

宇宙ロボットフォーラム参加登録者の内訳(4月11日現在)

JAXA	28
宇宙業界関係者(役所、団体)	26
宇宙関係企業社員	52
非宇宙分野の製造業関係者	72
非宇宙分野の非製造業関係者	33
大学関係者	58
個人(小中高生を含む)	31
プレス関係者	15

合計	315 名
----	-------

宇宙ロボットフォーラムのご案内

2007.4.18

宇宙航空研究開発機構(JAXA)

宇宙ロボット推進チーム

現在、新たな時代を迎えつつある宇宙開発の現場において、日本の優れたロボット技術の活躍が、国際的にも期待されています。21世紀の宇宙活動をリードする「宇宙一のロボット王国」を目指して、JAXAではロボット技術に携わっている企業・大学・研究機関等の皆さまとの技術交流を促進し、新しい時代の宇宙活動に必要なロボット技術の開発に本格的に着手します。

JAXAでは、本格的な宇宙ロボット技術の開発に先立ち、ロボット開発に携わっている企業・大学・研究機関の皆さまと、宇宙ロボットの研究開発などに携わっているJAXA担当者の間の技術交流会を開催する予定です。ここでの交流をきっかけに、世界をリードする様々な宇宙ロボット技術に関する共同研究が生まれることを期待しています。

第1回 宇宙ロボットフォーラム開催(予定)

日時: 2007年5月28日(月) 14:00 ~ 17:00

場所: 日本科学未来館7階みらいCANホール^(*)
(東京都江東区青海2-41)http://www.miraikan.jst.go.jp/j/guide/map_index.html

第1回フォーラムの話題:

- ・ 月面探査ロボティクス技術
- ・ 有人宇宙活動サポート技術



※宇宙ロボットフォーラムへの参加希望者が多数のため、1回フォーラムの開催日時/場所が、先日(3月28日)のJAXA公開宇宙ロボットシンポジウム会場等でご案内したものの(3月25日、JAXA東京事務所)から変更となっています。ご注意ください。参加者が多数の場合、入場をお断りする場合、あるいは別会場(主会場からTV中継)にご案内する場合があります。その際は御容赦ください。宇宙ロボットフォーラムは、2007年度中に4~5回程度開催する予定です。その際、JAXAの研究開発施設(相模原、調布、筑波)の見学会も実施予定です。

宇宙ロボットフォーラムに参加をご希望の方は、参加登録をお願いします。
宇宙ロボットフォーラムの最新情報は、ご登録いただいた電子メールアドレス宛に逐次ご案内いたします。

宇宙ロボットフォーラムへの参加登録/お問い合わせ先:

宇宙ロボットフォーラム事務局

E-mail: rbt-forum@jaxa.jp、FAX: 029-868-5970